

神戸学院大学 中期行動計画 実行計画(第4層) 2016年度達成度評価表 分野: 社会貢献

		評価	理由
中期計画	1 地域連携ネットワークの確立と強化		
実行計画	(1)「社会との連携・協力に関する方針」を策定する。	C	各学部・研究科によっては、個々にアクションを起こしているものの、2015年度と状況があまり変わっていない。本来単独の学部・研究科等で実行できる計画ではなく、計画実行には、社会連携部を中心とした全学的な取り組みが望まれる。
	(2) 地域と本学の安全を保持するために地域との連絡協議を活発化する。	B	おおむね目標どおりの成果を上げている。特に総合防災訓練実施に際してさまざまな取り組みが行われ、地域からの参加者も増加している。今後に期待する。
	(3) 産学官連携、大学間連携、高大連携など、さまざまな連携事業を発展・拡大させる。	A	産官学連携、大学間連携、高大連携など、各種取り組みが継続的に実施されており、一定以上の成果が上がっている取り組みも見られる。一方で、関連部署との連携がうまくいっていない部分も一部は衰退期・見直し期に差しかかっている部分も認められるため、次年度以降、改善が望まれる。
	(4) 地域住民の参加による大学と地域の交流の充実を図る。	A	大学と地域の交流は充実しており、また、一定以上の成果が上がっている。今後のさらなる発展に期待する。
	(5) 地域の教育機関等への支援体制を確立する。	—	今年度の計画は無い。
	(6) 大学施設の地域開放を進める。	—	今年度の計画は無い。
中期計画	2 教育研究成果の社会への還元		
実行計画	(1) 社会が求める生涯学習のあり方について検討する。	A	すでに検討段階ではなく、実行に移せており評価できる。次年度以降も継続した取り組みによる成果を期待する。
	(2) 土曜公開講座・グリーンフェスティバルのあり方について検討する。	A	グリーンフェスティバルでは、大学創立50周年記念に相応しい企画を実施できたこと、土曜公開講座では、一般の方に各学部・センターの専門や特色を知っていただく機会を提供できたことが評価できる。また、告知方法として、現代社会に見合った方法(SNS)を取ったことで、参加者増加につながったことも評価できる。
	(3) 学術講演会等の充実を図る。	—	今年度の計画は無い。
	(4) 神戸学院ブランド商品・食品の開発、販売について検討する。	—	今年度の計画は無い。
中期計画	3 ボランティア活動の推進と支援体制の充実		
実行計画	(1) ボランティア活動参加者の増加策を強化する。	B	昨年度までの課題・問題点を踏まえ、工夫や改善がなされており、次年度以降の取り組みによる成果を期待する。
	(2) ボランティア活動への支援策を強化する。	B	さまざまな取り組みがなされ、一定の成果が上がっている。次年度以降、今年度1に生じた課題・問題点を踏まえた取り組みに期待する。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る